

事業再評価シート

事業名	広域河川改修事業		
箇所名	一級河川五ヶ瀬川水系 祝子川	市町村名	延岡市

(上段()書きは当初計画)

実施方法	補助 交付金 県単		
事業期間	採択年度	再評価年度	完了予定年度
	H17	H26	(H26) H32
事業進捗	全体事業費 (百万円)	既投資額 (百万円)	進捗率(%)
	(4,286) 4,726	2,193	事業費 46.4 用地 62.3
再評価の概要	対象選定理由		事業効果(B/C)
	事業採択後10年経過		2.04
			対応方針原案 継続

全体計画

祝子川では、流下能力の低い区間や無堤区間において、度々浸水被害が発生している。祝子川流域は、人家や事業所など資産が集中しており、浸水被害による損害が大きいことから、流域住民からも早期改修の強い要望がある。

五ヶ瀬川水系河川整備基本方針：平成16年1月26日策定
 五ヶ瀬川水系祝子川圏域河川整備計画(県管理区間)：平成18年5月9日策定
 五ヶ瀬川水系河川整備計画(国管理区間)：平成20年2月8日策定

事業概要

国管理区間の上流端である祝子橋から桑平地区までの区間について、流下能力を向上させ、浸水被害の軽減を図る。

改修延長 L = 9.3 km
 総事業費 4,726 百万円
 計画規模 1,250 m³/s：祝子橋地点(計画洪水規模：1/50)
 事業内容 河道掘削、堤防・護岸・排水機場の整備等

事業目的

対象事業の目的、必要性

祝子川では、流下能力の低い区間や無堤区間において平成5年、平成9年、平成17年に甚大な浸水被害が発生し、人家や事業所、田畑で浸水被害を被っていることから、域住民からは早期な治水対策の要望が強く、治水安全度を早期に向上させる必要がある。

計画での位置付け

祝子川の改修計画は、平成18年5月9日に策定した五ヶ瀬川水系祝子川圏域河川整備計画に位置づけられている。

他事業との関連性・事業による効果

祝子川下流の国管理区間においては、既に激特事業により対応がなされ、祝子川流域の浸水被害の軽減を進めている。

事業を継続する必要性

これまでに掘削や築堤等を実施しているが、平成17年9月の台風14号時には家屋浸水375戸（床上212戸、床下163戸）の浸水被害が発生する等、依然として流下能力が低いことから、河川改修を引き続き実施する必要がある。

事業の進捗状況

現在の事業進捗、整備効果の発現状況

平成17年より特に流下能力が不足している桑平、大野、佐野、鹿狩瀬地区より事業に着手し、佐野地区では、暫定形にて完成しているが、平成19年に浸水被害が発生している地区があるなど、更なる事業進捗を図る必要がある。

今後の事業進捗の見込み

現在、特に流下能力が不足している桑平、鹿狩瀬地区において河道掘削や築堤・護岸の整備を実施中であり、引き続き浸水被害の解消を図っていく。

社会情勢等の変化

事業を取り巻く社会情勢等の変化

平成18年2月に旧延岡市と北方町、北浦町と、平成19年3月に北川町と合併し、新延岡市となり、流域における防災施策を一体的に進める環境が向上している。

一方、延岡市の高齢化率は30.3%（H26.10月）であり年々増加していることから、台風時等における災害弱者の増加が懸念される。

災害等の発生状況

平成5年8月(台風7号)	床上浸水231戸、床下浸水245戸
平成9年9月(台風19号)	床上浸水245戸、床下浸水268戸
平成16年10月(台風23号)	床上浸水16戸、床下浸水14戸
平成17年9月(台風14号)	床上浸水212戸、床下浸水163戸
平成19年8月(台風5号)	床上浸水3戸、床下浸水9戸

環境保全に対する取り組み

本事業は、河川の流水断面を大きく阻害し、洪水時の水位に大きな影響を及ぼす箇所を除き、河道内植生を極力残すよう配慮する。また、水際には寄石を施すなど複雑な水際線を創出することで、多様な自然環境を創出・保全する。

事業効果の分析

費用対効果

費用対効果は、2.04である。

事業を継続することの事業効果分析

事業継続により、平成9年洪水と同規模の洪水に対しての家屋の浸水被害を解消し、安全で安心して暮らせる社会づくりが推進される。

コスト縮減

築堤に使用する土砂について、自工区内河床掘削及び管内の他事業（堆積土砂除去、道路工事等）からの発生土砂を流用することで、コスト縮減を図っている。

今後も、他事業との連携を図りながら更なるコスト縮減に努めていく。

代替案の可能性

祝子川では、上流の祝子ダム(S47完成)による洪水調節を行っており、ダムを含めた河川改修計画を策定している。

現在の計画では、既設堤防がかなりの区間において整備されており、一部河道の確保や築堤を整備する計画としており、コスト的に現計画以外の改修案は適さないと考えられる。

対応方針

継続

位置図(管内図)

